

5. 省別1人当たり総生産

省別一人あたり総生産

	人口 (2005年 末)万人	都市人口 比率(%)		地区総生産(百万 元) Gross Regional	一人あたり 総生産(元)	順位
上海	1778	89.09	1	915418	51486	1
北京	1538	83.62	2	688631	44774	2
天津	1043	75.11	3	369762	35452	3
浙江	4898	56.02	6	1343785	27435	4
江蘇	7475	50.11	9	1830566	24489	5
広東	9194	60.68	4	2236654	24327	6
山東	9248	45.00	14	1851687	20023	7
遼寧*	4221	58.70	5	800901	18974	8
福建	3535	47.30	10	656893	18583	9
内モンゴ*	2386	47.20	11	389555	16327	10
河北	6851	37.69	19	1009611	14737	11
黒竜江*	3820	53.10	7	551150	14428	12
吉林*	2716	52.52	8	362027	13329	13
新疆*	2010	37.15	21	260419	12956	14
山西*	3355	42.11	17	417952	12458	15
湖北*	5710	43.20	15	652014	11419	16
河南*	9380	30.65	27	1058742	11287	17
重慶*	2798	45.20	12	307049	10974	18
海南	828	45.20	13	89457	10804	19
湖南*	6326	37.00	22	651134	10293	20
寧夏*	596	42.28	16	60610	10169	21
青海*	543	39.25	18	54332	10006	22
陝西*	3720	37.23	20	367566	9881	23
江西	4311	37.00	23	405676	9410	24
西藏*	277	26.65	31	25121	9069	25
四川*	8212	33.00	26	738511	8993	26
安徽*	6120	35.50	24	537512	8783	27
広西*	4660	33.62	25	407575	8746	28
雲南*	4450	29.50	29	347289	7804	29
甘肅*	2594	30.02	28	193398	7456	30
貴州*	3730	26.87	30	197906	5306	31

出所: 中国統計年鑑2006

一人あたり地域総生産において、重慶以外の三直轄市が1/2/3位を占めるのに対し重慶は19位。
重慶は低所得地域のなかでは都市住民比率が高い。

*印は中西部

6. CRRC における継続教育の現状

CRRC における継続教育の現状

(1) CRRC の人材養成体制

CRRC では人材の教育と研修は科教処が担当し、各種の研修コースを実施している。科教所の人員は、所長・副所長各1名、学歴教育(大学・大学院)担当2名(本来は3名だが現在1名がカナダで長期研修中)、継続教育2名、科学研究2名、設備担当1名、の合計9名である。

(2) CRRC の実施する継続教育

CRRC が実施する継続教育には、①衛生部認定の継続研修、②専科医師研修、③進修制度、がある。

1) 衛生部認定(1級)継続教育(外部リハビリテーション施設在職者研修。科教処担当)

毎年表3-9に示す4種類、計8期の研修が定期的実施されている。これら研修に参加するのは、リハビリテーションセンター・病院等のリハビリテーション専門スタッフで、毎年合計約500人が研修を受けている。

CRRC が実施している衛生部認定(1級)継続教育研修

研修コース名	年間実施回数	1回のコマ数(1コマ50分)
全国リハビリテーション治療技術(PT、OT)研修コース	4期/年(春季・秋季各2期)過去32回実施	7コマ×5日×2週間 計70時限
全国脳性小児麻痺リハビリテーション研修コース	1期/年(毎年5月)過去9回実施	7コマ×5日 計35時限
全国言語聴カリハビリテーション研修コース	2期/年(春季・秋季各1期)過去16回実施	7コマ×5日×2週間 計70時限
全国脳卒中・頭部損傷リハビリテーション学習コース	1期/年(毎年10月)過去9回実施	7コマ×5日×2週間 計70時限

なお、上記の研修以外に2007年度には第1回認知評定技術研修(5日間コース)、第1回実用PNF技術研修(2日間コース)を試行的に実施した。

研修費用は、2週間コースで通常700~1000円で、講師の謝金、実習費用、教室借り上げ費、機材利用費などを賄っている。

全国25省・直轄市の各病院やリハビリテーションセンターのスタッフが研修に参加しているが、2007年実績では、障害者連合会系列のリハビリテーションセンターの人はわずか2%で大部分は衛生部系列の2級、3級病院の在職者である。

2) 専科医師研修(医師インターン制度:科教処担当)

CRRC はリハビリテーション科の指定病院(リハビリテーション医師専科培训基地)に指定されており、現在、数名がCRRCで専科医師研修を受講している。

3)進修制度(病院間交流研修制度:医務課担当)

総合病院などが、ある分野において内部に適切な指導者がいない場合、職員を当該分野に強い他の病院に派遣して養成する制度。CRRC では毎年各診療科から推薦を受けて外部の病院に10-20名派遣している。近年ではPT、OT養成のニーズが高まり、この分野での外部からの進修生の受け入れが増加し、現在CRRCでは年間300名程度を受け入れている。期間は6ヶ月、1年の2種類である。

7. CRRC 現有教材

(1) 出版教材

	教材名称	主編	教材字数(千字)	出版年月	価格
1	運動学 (基礎運動療法を含む)	周士枋、丁伯坦	438	2004.1	¥38.00
2	人体发育学	江钟立	195	2004.1	¥17.00
3	リハビリテーション医学概論	吴弦光	155	2003.7	¥14.00
4	理学療法・作業療法概論	朴春花、桑德春	203	2004.5	¥18.00
5	臨床リハビリテーション学 (老人リハビリテーション学、整形外科学を含む)	关骅	685	2004.12	¥60.00
6	リハビリテーション療法評価学	恽晓萍	872	2005.7	¥75.00
7	リハビリテーション心理学	贺丹军	355	2005.3	¥32.00
8	運動療法技術学	纪树荣	903	2004.9	¥75.00
9	中国伝統リハビリテーション治療学	许健鹏、高文柱	722	2005.4	¥60.00
10	基礎作業学	陈立嘉	232	2004.9	¥21.00
11	臨床作業療法学	王刚、王彤	850	2005.1	¥75.00
12	言語治療学	李胜利	284	2004.6	¥25.00
13	理療学	乔志恒、华桂茹	374	2005.2	¥35.00
14	日常生活技能および環境改造	汪家琮	440	2005.3	¥39.00
15	義肢装具学	赵辉三	531	2005.2	¥48.00
16	地域リハビリテーション学	赵悌尊	329	2005.4	¥29.00
17	物理療法・作業療法研究法	刘克敏、陈巍	258	2005.2	¥25.00
18	臨床運動療法学	励建安	463	2005.7	¥40.00
19	レクリエーション療法学	金宁	374	2005.2	¥35.00
20	職業関連活動学	马洪路	150	2005.5	¥12.00

(2) ビデオ教材

作成年 月	タイトル	内容	作成者
2004.5- 2004.12	運動学触診方 法	1 手、腕部触診; 2 頭、頸、軀干触診; 3 肩部触診; 4 肘部触診; 5 骨盆、髖関節触診; 6 膝関節、踝関節、足部触診	閻晓梅、菅原 刘建华、刘璇 刘璇 刘建宇 庞红、李洁辉、石井 庞红、李洁辉、石井
2005. 12-	リハビリテーシ ョン療法評価学	1 徒手肌力検査(进行中……)	PT
2004.6- 2004.10	人間発達学	1 使用矫形器前后对比; 2 胎児的生长发育; 3 胎児的生理功能发育; 4 小儿惊厥; 5 小儿发育;	脳癱
2004.9	運動療法技術 学	1 Bobath 反射治疗;	奈良、黄薇
2005.3- 2005.12	臨床運動療法 学	1 翻身起坐; 2 截癱训练; 3 偏癱训练; 4 平衡协调(示范); 5 平衡协调(患者);	PT
2005.1- 2005.9	言語治療学	1 构音障碍(一); 2 构音障碍(二); 3 语言集体治疗; 4 失语症(一); 5 失语症(二); 6 图片检查; 7 言语训练(一); 8 言语训练(二); 9 语言发育迟缓;	ST
2005.10	理療学	1 水疗的教学演示	理疗
	リハビリ手シ ョン 治療の紹介		

8. 各省における人材養成計画

各省における人材養成計画

1. 陝西省

「十一五」期間中の身体障害者連合会のリハビリテーション治療人材計画は、身体障害への奉仕を根本的趣旨とし、業務技術にすぐれ、高い医療従事者としての徳を備え、奉仕を楽しみとする、高い資質を備えたリハビリテーション人材の隊列の確立を目的としている。具体的な目標は次のとおり。

- (1) 2010年までに、リハビリテーション用ベッド200床を設け、ベッド使用率80%以上を達成、リハビリテーション業務に従事する技術者を200人以上に引き上げる。このうち、リハビリテーション関連の修士課程修了者10人、博士課程修了者3人とし、主力となる技術者が80%以上に達するようにし、総合リハビリテーションビル建設を完了、白内障の手術2,000例を含む、年間4,000人の患者のリハビリテーションを実施する。
- (2) リハビリテーション情報管理を完了し、遠隔地のリハビリテーション・立会診察を実現する。
- (3) 陝西全省の各地・市のリハビリテーション情報ネットワーク事業を完成させ、全省でネットワークリハビリテーション教育事業を展開する(マルチメディア教育、テレビ教育)
- (4) 各省・市の交流を強化し、リハビリテーションをめぐる国際的な交流に参加し、先端のリハビリテーション医学プロジェクトの模索を図り、リハビリテーションに関する難題に着手し、陝西省身体障害者リハビリテーションセンターが全国、更には国外でも一定の名声をもつリハビリテーション機関になるよう努める。

陝西省身体障害者リハビリテーションセンターは全省の身体障害者リハビリテーション技術資源センターとリハビリテーションサービスのモデル・窓口であり、陝西省身体障害者リハビリテーションサービスにおける指導センターでもあり、全省のリハビリテーション人材の養成及びリハビリテーション技術の指導面における業務を引き受けている。具体的な内容は次のとおり。

- (1) 省身体障害者連合会の指導の下、全省の身体障害者リハビリテーション業務の技術指導を引き受ける。
- (2) 省身体障害者連合会による各種リハビリテーション業務・任務を完了し、身体障害者向けに総合リハビリテーションサービスを提供する上でのモデル・窓口となる。
- (3) リハビリテーション技術専門人材、身体障害者関連業務従事者の育成、リハビリテーション知識や身体障害の予防知識の普及を図る。
- (4) 各レベルの身体障害者リハビリテーション機関における業務構築を指導する。
- (5) リハビリテーション関連の実用技術の普及、訪問サービス。
- (1) (6)「視力回復一号」手術車の確実な管理、末端の眼科医向けの研修。
- (6) 学術探求、国際交流を展開し、リハビリテーション研究を実施するとともに、科学研究成果の実用化・活用に特に力を入れる。

担当するこれら 7 項目の職能に基づく具体的な実施案は次のとおり。

- (1) 年度の全省リハビリテーション人材養成・リハビリテーション技術指導計画を制定するとともに、各地・市に通達する。計画の中で、年内におけるリハビリテーション人材の養成数、専門、期間、達成要件を明確にする。リハビリテーション技術指導の範囲、内容、達成要件を明確にし、各地・市は計画に基づき、準備を確実に行う。
- (2) リハビリテーション知識の普及、コンサルティングサービスの確実な実施、普及を目的とする読み物の配布、リハビリテーション知識の広報欄の設置、障害者支援活動の広範な実施を図る。
- (3) 省センターは省内 107 県(区)の身体障害者連合会、大部分のコミュニティのリハビリサービス・ステーションの身体障害者リハビリテーションサービス仲介ネットワークを確立し、リハビリテーションに関する技術指導及び身体障害者の各種リハビリニーズを満たす。
- (4) 地・市レベルのリハビリテーション機関によるリハビリテーション技術資源関連文書の作成について、毎年一回、調査・研究、指導を実施する。全省リハビリテーション技術中核人材研修コース 2～3 期の実施、各地・市(区)によるコミュニティのリハビリテーション技術者研修コース 1 期の実施、現場のリハビリテーション専門技術者の育成などを行う。
- (5) 省センター内のリハビリテーション技術講座及び業務研修、リハビリテーション設備の使用現場における指導・研修活動を実施し、「集中的な養成、重点的な把握が図られた、実用的かつ信頼のおける形での身体障害者の受け入れ」という目的を達成する。
- (6) 毎年各地・市のリハビリテーション関連スタッフ 2～3 人を受け入れて、省センター内で学習させる。彼らを通じて、現場のリハビリテーション関連スタッフの二次研修を行う。

2. 重慶市

(1)「十・五計画」期間におけるリハビリテーション人材養成の実績

- ・ 区・県級において、様々な形式によって弱視、聴覚・言語障害、肢体障害、脳性麻痺児童、知的障害リハビリテーション、精神病予防治療、補助器具供給、社区リハビリテーション等各種リハビリ技術・管理研修を実施
- ・ “十五”期間中に、省級(市)リハビリテーション技術人員・リハビリテーション幹部・社区全科医師 2000 人を研修
- ・ 各区・県も、街道・郷鎮及び社区の障害者リハビリテーション研修を実施、末端のリハビリテーション人員 14988 人を研修
- ・ 省級障害者リハビリテーションセンターが一つ、区・県級各種障害者リハビリテーション機構が 26、リハビリテーション技術人員は約 300 人。
- ・ リハビリテーション経費・技術人員の不足。障害児童のリハビリテーション訓練のニーズに応えるため、技術力の高いリハビリテーション人材の養成が急務であり、CRRC と相互連結した遠隔教育ネットワークの建設が必要である。

(2)「十一・五計画」「十二・五計画」におけるリハビリテーション人材の需要と育成計画

- ・ 関連政策の制定：市障害者連合会理事会は障害者リハビリテーション人材養成を“十一五”リハビリテーションの重要業務とし、「全国障害者連合会系統リハビリテーション人材養成計画(2005-2015年)」及びその実施細則、「重慶市障害者連合会等リハビリテーション人材養成計画(2005-2015年)」及び実施細則に基づいて、今後10年間の研修目標・計画を制定。
- ・ 障害者連合会系統リハビリテーション人員研修を全て統一管理とし、リハビリテーション業務管理人員、専門技術人員、社区リハビリテーション人員に対して継続教育単位制管理を実施。2015年までに全人員の研修を実現し、一定程度完成されたリハビリテーション人材研修業務システム及び関連管理制度を形成し、リハビリテーション人員資格登用を全面的に実現する。
- ・ リハビリテーション研修経費の投入を増大。
- ・ 「JICA リハビリテーション人材研修プロジェクト」を重慶市で実施できるよう以下のとおり準備を実施。
- ・ 市障害者連合会理事長をチーム長とする「JICA 中国中西部地区リハビリテーション人材養成プロジェクト」重慶市指導チームの結成、JICA プロジェクトの研修計画の制定、5年間リハビリテーション人材研修の資金100万円の準備等、プロジェクト実施の準備業務を実施。
- ・ 市障害者総合サービスセンターを全市リハビリテーション人材養成基地として強化
- ・ 交通不便な末端のリハビリテーション人員の研修の実施を行うための遠隔ネットワーク教育の建設の強化：重慶市障害者総合サービスセンターと中国リハビリテーション県級センター・国際機関との教学・研修・指導・リハビリテーション技術の双方向交流の実施、リハビリテーション中堅職員及び種子人材の早期養成を行う。

(3)リハビリテーション技術指導面で担う業務と実施方式

- ・ 重慶市身体障害者総合サービスセンターは市内唯一の省級の身体障害者リハビリテーション専門機関であり、身体障害者向けのリハビリテーション、就職斡旋サービスを直接担当している。同時にまた、全市の各区・県の身体障害者サービス機構の業務展開及びリハビリテーション人材養成の指導についても責任を負っている。
- ・ リハビリテーション人材の育成の方式は以下の通り：各種形式、タイプの研修コースの開催、理論と実践の結合の強化、全面的な向上と重点的な指導の結合、センターにおける集中的な研修の手配と技術小グループによる区・県における現場指導との結合など、さまざまな研修方式を定期的に手配する。

1)センターによる人材養成の状況

【学歴研修】(在職のまま通信教育や国内留学等により学歴資格を取得する制度)

- ・ よりハイレベルなリハビリテーション専門人員の養成のため、センターが経費の一部を補助し、学歴研修を奨励。
- ・ これまで約45人が参加、センターより10万余元の経費を支出。

【專業研修】

- ・ 脳損傷児童・知力障害児童・自閉症児童のリハビリテーション指導員の研修、義肢・矯正器具製作人員の研修、聾啞リハビリテーション教員・補聴器検査調節人員の研修、社区指導業務(登用・転職)、障害者就業サービス業務等の研修を実施。
- ・ リハビリテーション專業人員を全国の各種研修(CRRIC、中国聴力語言リハビリテーション研究センター、中国障害者補助用品装束ステーション、華東師範大学学前特教育学院研究基地、上海昭鳴言語科学研究センター等の研修)に参加。これまで約 100 人が参加、研修経費として約 60 万元を支出。

【学科リーダー制度】

- ・ 理論試験・專業人員実務能力評価を通して、学科リーダーを確定。
- ・ 学科リーダーは、本部門の專業人員の業務二級研修・予備專業人員の研修を行う。

2) センターリハビリテーション技術人材養成発展計画

- ・ 「重慶市障害者事業“十一五”発展綱要」における要求(重慶市障害者リハビリテーション医療研究指導センターの設立、重慶市障害者リハビリテーション技術指導機構の建設強化、障害者リハビリテーション訓練・サービスの全面的展開、全市障害者リハビリテーション技術業務の指導)に基づいて、センターのリハビリテーション人材養成計画の科学化・制度化・規範化を行うため、
- ・ また「重慶市障害者連合会系統リハビリテーション人材養成計画(2005～2015 年)」実施細則の精神に基づいて、障害者「誰もがリハビリテーションサービスを楽しむ」という目標を 2015 年に実現するため、以下のとおりセンター障害者リハビリテーション発展計画を制定。

3) 重慶市障害者リハビリテーション技術專業人材研修基地、リハビリテーション技術資源センター基地の建設

- ・ センターリハビリテーション病院・重慶市視覚障害者按摩指導センターを、重慶市障害者リハビリテーション訓練基地及び障害者リハビリテーション技術人材研修基地として建設

註: 現在センターは病院を持たず、臨床現場がないため臨床指導ができない。二級病院を建設し、リハビリ治療業務を行うとともにそこを臨床研修の基地とする。

4) センターリハビリテーション人材の誘致及び養成のスピードアップ

- ・ リハビリテーション事業拡大のため、市編成委員会に定員配慮を依頼(=増加)、高學歷で経験豊富なリハビリテーション技術人材の受入。
- ・ 現有の中堅リハビリテーション技術人員の育成の強化。
- ・ 障害者リハビリテーション領域の遠隔ネットワーク教育研修プラットフォームの建設(ネットワークを利用した図書館・マルチメディア教材・教学(病案)資料庫等のリソースの充実化、様々なレベルのリハビリテーション專業人員の專業知識教育の実施)。

5) 省級及び末端リハビリ人員研修時間計画の要求

- ・ 2010 年までに、省級リハビリテーション専門技術人員の 90%、リハビリテーション技術指導機構を建設している区・県のリハビリテーション専門技術人員の 70%の研修を行う。
- ・ 2013 年までに、省級リハビリテーション専門技術人員の 100%、リハビリテーション技術指導機構を建設している区・県のリハビリテーション専門技術人員の 90%、モデル社区のリハビリテーション人員の 70%の研修を行う。

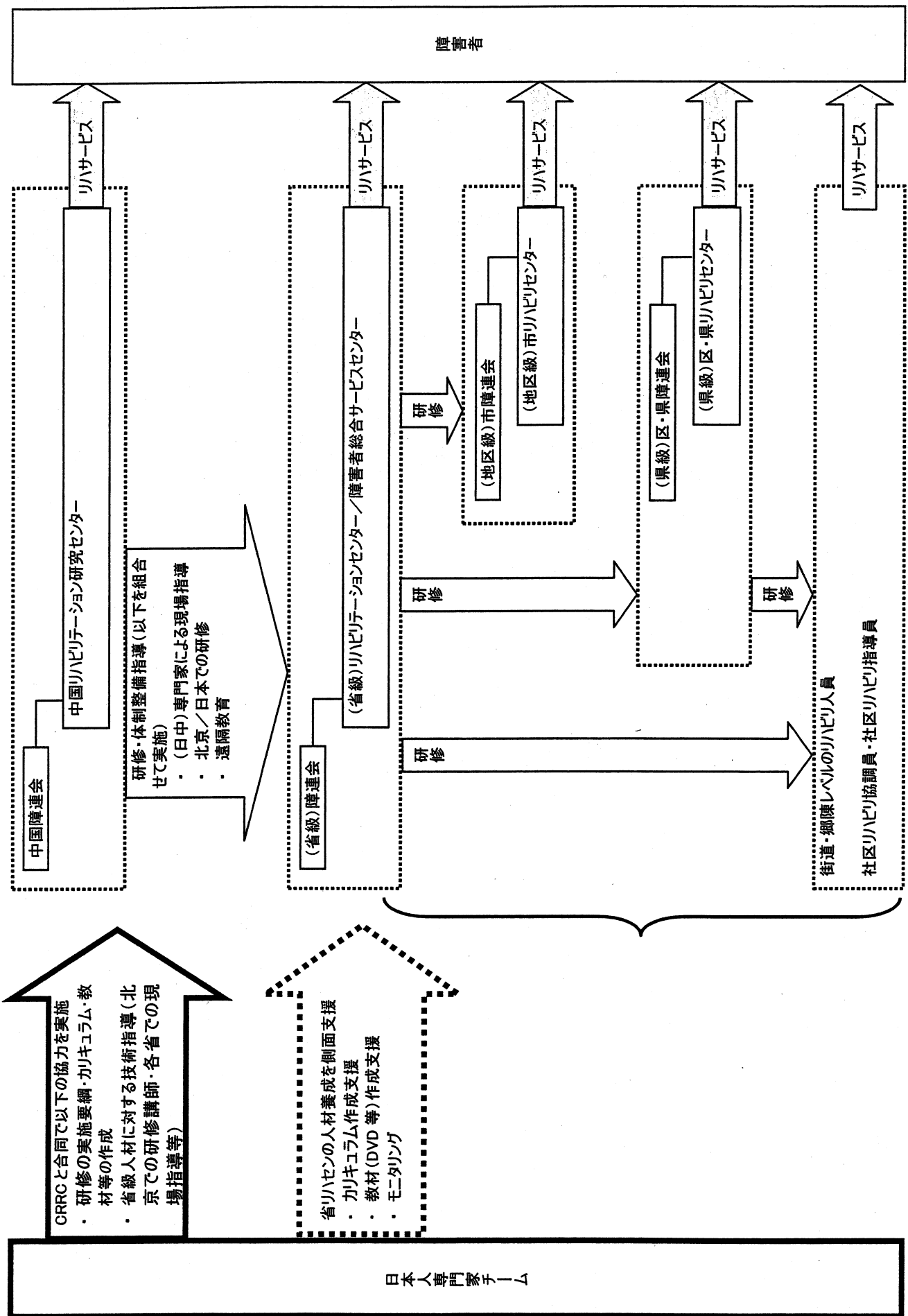
註:重慶市は十一・五による 2010 年までに500のモデル区を建設する予定である。建前は社区の指導は県・区が行うが現在の重慶市の県級のレベルが低く、このモデル区の研修は省がやることになっている。なお、能力のある渝中、江北、南岸等の区は独自で研修を展開している。

2015 年までに、リハビリテーション専門技術人員の全員の研修業務を完成し、リハビリテーション専門技術人員の資格登用・継続教育単位制管理を実現する。

3. 広西壮族自治区

- (1) 「十一五」のスタートにあたり、人材養成という問題を解決するため、自治区身体障害者連合会理事会の指導者は何度も関係者を組織して、自治区全体で広西の身体障害者のリハビリテーションをめぐる「百・千・万人材養成事業」の推進を図っている。すなわち、まず、100 人を養成し、5年間という時間を利用して、自治区全体で、高級レベルの機関におけるリハビリテーション専門人材を 300 人育成するというものであり、かれらが数千人の中級人材、10000 人の基層人材を育て上げる。都市のコミュニティにおけるリハビリテーション人材に対する研修を行い、都市のコミュニティにおけるリハビリテーションサービスの全面的な推進を図る。自治区全域の農村の現場で、障害者に対して、質の高いリハビリテーションサービスを提供することができるリハビリテーション指導員を万人単位で育成する(新農村医療合作活動)ことで、障害者向けリハビリテーションサービスが広西の至る所に行き渡るようにする。これにより、広西の身体障害者のリハビリテーション事業をめぐる人材体系を構築していく。
- (2) 広西は、少数民族地域であり、最近の発展の速度は速いが経済力が限られている。プロジェクトには遠隔教育を通じた少数民族地域の人材養成を期待する。また、北京が研修、実習のセンター。三省は下の拠点としての役割をはたすことを期待する。このプロジェクトには 5 年間で 100 万元資金投入を予定している。
- (3) 成功すれば貴州、雲南、湖南に波及する。
- (4) 人材育成は二つの側面から必要。一つはハイレベルの人材(省級機関)、もう一つは社区。毎日通院できない人を社区レベルで指導できることが重要。
- (5) したがって、まずリハビリ機関の人材として特に省級に重点をおく。省級ができたなら地級(市)、県級。リハビリ機構の人材育成を 2010 年までに達成したい。

9. プロジェクト実施体制概念図



10. 遠隔教育ネットワークに関する中国側説明および所要機材とその予算案

遠隔教育ネットワーク所要機材とその予算(改訂中国側提案)

	機材	予算
ネットワークプラットフォーム建設	データサーバー 2台 ● IBM DB2 Universal Database version 5.2 ● Microsoft SQL Server 2005 ● Oracle 10g Express Edition	10 万元
	メインサーバー及びバックアップサーバー 2台 IBM System p5 520Q ● IBM p Series サーバー ● Windows 2003 以上 少なくとも 2GHz 以上のメモリー	20 万元
	システム管理サーバー 2台 IBM Z Pro (922898C) ● 2 個至強 5160 プロセッサー ● 少なくとも 2GB 以上のメモリー 73.4G 以上 ハードディスク	10 万元
	ネットワーク設備 ● ルーターCISCO 2821 5x23000 (元) ● モデム 3COM SuperStack3 Switch 3250 5x10000 (元) ● ファイアーウォール CISCO PIX-515E-R-BUN 5x21000 (元) ● ハブ TP-link TL-HP8MU 10x52 (元) ● 本体 2x1000 (元) ● UPS 電源 5x500 (元) ● 磁気テープ 10x10000 (元) ● テープライブラリー 10x20000 (元) ● 100MB/s PCI カード D-link DFE-530TX 20x50 (元)	56 万元
	端末 PC 及び関連設備	24 万元
	惠普 Pavilion m8165cn GG034AA 15 台 15x12000=180,000(元) ● Intel Kerong 2 双核 E6420(2.13GHz) ● 2048MB 以上のメモリー ● 100Mbps 以上のインターネット接続スピード ● 22 インチ液晶モニター ● 全二重サウンドカード ● 高品質のマイクとスピーカー	

	<p>ソニーVGN-FZ15 ノートブック 6台 6x10000=60000(元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1024MB以上のメモリー ● 100Mbps以上のインターネット接続スピード ● 15.4インチ液晶モニター 	
	<p>教育設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多機能型演壇 三星 SDP900 投影展台 2x50000 (元) ● 演壇用コピー式白板 WACOM CintiQ21UX 4x34000 (元) ● 大ディスプレイ 藍博 DVS67 1x100000 (元) ● スクリーン 美視投影幕 150インチ 4x4500 (元) ● プロジェクタ 愛普生 TW1000 4x50000 (元) ● ビデオカメラ ソニーHDR-SR8E 5x11500 (元) ● 録音装置 ソニー ICD-SX77(1GB) 20x1790 (元) ● ワイヤレス会議システム <p>TANDBERG 2500 Super 4x92400 (元)</p> <p>RADFORT SM-MCU-506 1x14,800(元)</p>	90 万元
	ネットワークプラットホーム建設資金合計	210 万元
	INTERNET サポートプラットフォーム	
INTERNET サポート プラット フォーム	<p>ネットワーク安全サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全なファイアウォールによる保護 ● 本体とネットワークに基づいた侵入検知の提供 ● Windows システムのウイルスブロック ● 安全なバーチャル LAN (VLAN) <p>ネットワーク安全性問い合わせサービス</p>	15 万元
	<p>ネット接続サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10Mbps 専用線接続サービス ● ネットワーク接続プラットフォーム建設 ● ネットワークサービス技術サポート ● ネットワーク接続メンテナンス ● ネットワークドメイン分配 	30 万元
	INTERNET サポートプラットフォーム合計	45 万元
	教育資源管理プラットフォーム	10 万元
	教育資源管理プラットフォーム 合計	10 万元

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 教学プラットフォーム </p>	<p>ワイヤレス会議システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ID 登録認証システム ● データ機密システム ● 会議フローコントロールシステム ● 電子記録システム ● 電子ホワイトボードシステム ● ファイル共有システム ● 会議予約システム ● グループ会議システム ● 録画保存及び再生システム ● ワイヤレス会議端末 	50 万元
	<p>遠隔教育系统</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WEB 教学界面 ● ワイヤレス会議画像音声伝送 ● 多点放映 ● レアルタイム機能 ● データバンク共有 	30 万元
	<p>教学プラットフォーム合計</p>	80 万元
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 教育管理及び評価プラットフォーム </p>	<p>ユーザー管理サブシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー追加システム ● ユーザー削除システム ● ロックオン、ロックオフシステム ● ユーザー情報修正システム ● ユーザーグループ追加システム ● ユーザーグループ削除システム ● ユーザーグループ修正システム 	5 万元
	<p>リアルタイム費用計算サブシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格固定システム ● 時間帯割引システム ● 割引システム ● 累積割引システム 	5 万元
	<p>口座管理サブシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー入金システム ● 資金記帳システム ● 口座問い合わせシステム 	5 万元

	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー情報問い合わせシステム ● ユーザー口座問い合わせシステム ● パスワード修正システム ● ユーザーフィードバックシステム 	5 万元
	<p>統計サブシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー増加統計システム ● 業務収入統計システム ● ユーザー追加統計システム ● ユーザー削除統計システム ● 未納入費用統計システム ● ユーザー統計システム 	5 万元
	<p>システム管理サブシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システムパラメーター設定システム ● システム権限設定システム ● システム安全設定システム ● システム調整設定システム ● システム管理設定システム 	5 万元
	<p>オペレーター権限管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認証システム ● プレビューシステム ● 検索システム ● リソース管理システム ● 項目分類システム 	5 万元
ネットワーク教育管理プラットフォーム建設資金合計		35 万元
ト プ ラ ッ ト 資 源 サ ポ ー ト	<p>サポートリソース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教師及びネットワーク技術人員研修 ● データバンク建設 ● デジタル図書館 	30 万元
リソースサポートプラットフォーム合計		30 万元
総合計		410 万元

11. 中国障害者事業「十一・五」発展綱要（2006－2010）（概要と仮訳）

中国障害者事業「十一・五」発展綱要（2006－2010）（概要と仮訳）

「国民経済及び社会発展第十一次五ヵ年計画（2006－2010）」の具体的実施面を定めた中国障害者連合会の「中国障害者事業「十一・五」発展綱要（2006－2010）（2006年6月4日国務院批准）」（以下「十一・五綱要」という）では、「障害者事業を強化し、障害者のリハビリテーション・就学・就業を支援し、障害者の参加と平等の条件を整える」を方針に、以下の目標を実現するとしている。

- (1) 障害者の基本生活が全体として「初歩的小康水準」（ややゆとりのあるレベル）に到達する。（「十・五綱領」にはこの表現はなかった）
- (2) 延べ 830 万人の各種障害者がさまざまなリハビリテーションサービスを楽しむ。（ちなみに「十・五計画」における目標は 510 万人であった。）
- (3) 1000 万人の貧困障害者の基本的衣食充足を支援する。（「十・五綱領」にはなかった新項目）
- (4) 32 万戸の農村貧困障害者の家庭内の危険箇所改造を支援する。（「十・五綱領」にはなかった新項目）
- (5) 都市障害者就業達成 540 万人（「十・五計画」期間中に 167 万人増加して「十一・五計画開始時点では 463 万人になっている）
- (6) 農村障害者就業安定 1800 万人（「十・五計画」により 1803 万人就業が達成しているがこれを安定・維持させるという趣旨）
- (7) 障害者の社会保障体系への参加を促進し、基本生活を保障する。（数値目標なし）
- (8) 障害児童・少年の義務教育を普及し、障害者が教育を受ける権利を強く保障する。（数値目標なし）
- (9) 障害者の文化生活のレベルを一段と高め、体育活動を普及する。
- (10) 障害者の権利保障状況を改善する。
- (11) 障害者の組織を強化する。

12. 中国行政区の補足資料

中国行政区の補足資料

中国における地方行政区は、省級（自治区・市）、地級（地区、市）、県級（県・市・区）、郷級（郷・鎮・街道）、コミュニティ級（社区・村）の五段階からなる。各級の地方政府内にそれぞれ障害者連合会、民政局、衛生局があり、末端の、社区居民委員会や村民委員会には衛生委員、民政委員がおり、また障害者協会代表の委員が必ず参加している。（最末端の組織の呼称は障害者連合会ではなく障害者協会と呼ばれる）

郷級以下においては三系統の代表（地域によってはこれに教育部系統等他の系統の委員も参加）からなる委員会（街道リハビリテーション指導委員会、社区リハビリテーション委員会等）が組織され、衛生部がプライマリーヘルスケア推進のために設置した社区卫生服务站（ステーション）の施設を活用しそれに 30-100 平米程度のリハビリ訓練スペースを増設し社区卫生服务站兼社区康復站（リハビリテーションステーション）の二枚看板としたところが殆どであり、三者共管といえる。三者の役割分担は民政系が施設の建設・管理、衛生系が医療、連合会系がリハビリ管理となっている。さらに教育系が障害児童教育担当として参加している場合が多い。

省級行政区¹とは、国務院直属の地方行政区を意味する。国務院直属の行政区には、北京、上海、天津、重慶の四直轄市、内モンゴル、広西チワン族自治区、新疆ウイグル自治区、寧夏回族自治区、チベット自治区及び 23 省（但し台湾省には現在行政権が行使されていないため実質的には 22 省）及び香港、マカオの二特別行政区の 34 行政区があるが、通常は特殊事情にある、香港・マカオ両特別行政区及び台湾省を除く 31 行政区をさす。人口（2005 年）はチベット自治区の 277 万人から 9000 万人を越す河南省、山東省、広東省までばらつきが大きいがおおむね数千万人規模であり、面積・人口とも国並みの規模である。現在 31 の省級行政区の全てにリハビリテーションセンター²が建設されているが、その殆どが病院併設であるのに対して重慶市など一部のリハビリテーションセンターには、病院がなく、回復期の訓練が主体で治療行為は出来ない。現在これらの施設に病院を併設する事業が進行中である。

地級行政区とは、省級行政区の下の機構であり、地級市（区のある大都市。いわば神奈川県における横浜市、川崎市のようなもので省都は全て地級市）と地区（いわば神奈川県における横浜市・川崎市以外の湘南地方、足柄地方、愛甲地方といった感じ）に分かれる。地級行政区の規模は人口 100 万人程度から 1000 万人をこすものまでばらつきがある。現在南寧市児童リハビリテーションセンターのように広西チワン族自治区リハビリテーションセン

¹ 各級行政区の数については添付資料 10 を参照。

² 呼び名は統一されておらず、地域によりリハビリテーション研究センター、リハビリテーションセンター、障害者総合サービスセンターなど違った名前でもよばれている。

ターを超えた施設・人員をもつところから西安市のように省級施設に頼り、市としては殆ど施設らしい施設までもたないところまで地級機構のレベルはばらつきが大きい。

県級行政区には、市轄区（地級市の区、いわば横浜市中区、みどり区）、県級市（区のない中小市、いわば横須賀市、鎌倉市）、県（いわば愛甲郡、足柄下郡）がある。県の県庁所在地は市になっていない町（鎮）である。県級行政区の人口は県でおおむね50万人程度、区では数百万人規模。広西壮族自治区の聞き取りでは県級行政区でリハビリテーションセンターをもつところは少なく、持っているところもそのレベルは様々であり、NGO（Handicap International）の支援が入って比較的良好な状況にあるという馬山県のセンターを見学したが、重慶、南寧、西安の大都市部の社区よりも見劣りがする程度である。他方重慶市万州区、江津区で見学した県級リハビリテーションセンターは都心からの距離が二百キロ以上と遠いこともあり都心の省級施設に通院困難であることから、地元のリハビリテーションセンターとしてそれなりの規模内容をそなえつつある。

郷級行政区には、郷（村）、鎮（町）、街道（地級市では区の下、県級市では市の直下の行政区。いわば新宿区角筈のレベル）がある。規模は人口数千人から数十万人程度。郷級リハビリテーションセンターは、社区康復に対する指導、及び用品・用具配給所程度のレベルにある。

コミュニティ級行政区には社区（都市部。街道の下、いわば角筈一丁目町内会）、村（農村部。いわば西多摩郡檜原村数馬集落のレベル）がある。今回調査では村は訪問できなかった。今回参観した社区は人口数千人から数万人規模。社区については別項で述べるが、見学した限りの社区においては、施設、人員、活動とも上級行政区である馬山県よりも高いレベルにあったが、これは社区康復活動が推進されている一部の社区に限られている。

以上、上級機構が下位機構に対する指導・レファラルを担当するのが建前であり、施設、人材、活動内容とも上級機構の方が充実していると想定されるが、現実には、省級あるいは地級あるいは県級といってもその充実度には大きな地域差があり、場所によっては下位機構の方が充実している例も見られる。